

夕刊

改革概論(完)

心もなければ厳密な意味の... 責任者もないのであり... 修正の教科書の講義を聞か... 注意と同情

第五章 中學校

次に中學校について一言し... 高木學校、専門學校、大學... の學生等の社會科學研究... 縮や思想善導問題について

表面のみでないか

平町家屋委員の候補者は少... 海浜仁井田浦の風景新... 赤沼庄兵衛、小松章、安...

定員数の立候補

形勢にはかに圖り難し... 正式届出は昨報迄の十二名... 白銀町から松永友太郎(四)

家屋委員の無風地帯

本郡百景の... 東京日か... 新舞子へ... 自然景色を以て見られる...

休山坑夫無難

石城... 此の意味なら立派な作者に... なれるじやう

俳句に就て

満壽莊主人... 女を誰あろう、朝顔につるべとられて...

遺損つた辻強盗

犯人は蒲鉾屋の不良... 廿四紙幣で三ッ輪石鹼二函... 甘國紙幣で三ッ輪石鹼二函

家屋税調査委員

候補者として... 堀江正茂君と推薦す... 佐々木龍若

て指導し、しつかりした人郡内郷村の朝鮮炭礦及び... 生觀、國體觀を持たせる事... 最も肝要な事なのであり... 休山した其爲の失業坑夫... 六十名を小野田坑斤経営... 部光術が引受た由... 選挙立會... 人と開票... 田黄之助... 五丁目北裏の闇で... 遺損つた辻強盗... 犯人は蒲鉾屋の不良... 廿四紙幣で三ッ輪石鹼二函... 甘國紙幣で三ッ輪石鹼二函... 以て白銀町の鐵道官舎だ... 右工門、高岡六衛(以上... 皆吉、渡邊重三郎、古川... 小野忠衛(以上民政)小宮... 半七、鈴木良藏、大平喜... 平町四丁目鶴屋洋品問屋... 九日午後八時過ぎ電話... 以て白銀町の鐵道官舎だ... 廿四紙幣で三ッ輪石鹼二... 甘國紙幣で三ッ輪石鹼二... を買ふから釣鐘十八圓を... たせて小僧に届けるやう... 官舎は開がらだから五丁... 北裏の石、脇に待合せて... 愈よ衆議院も本會議とな... た帝國議會は老學堂によ... て火蓋を切る内閣不信任... が忽ち職掌神經を失らせ... 會であるなら野黨の小同... を勢子と見て役者の顔が... ふお芝居の前景氣として... 押へた男を取調べの結果... 町目かまほ一屋遠藤方の... 本幸一(二)と稱し小僧を... をした意味も充分にある... 此意味なら立派な作者に... なれるじやう... と賞揚したそうである此... 女こそ誰あろう、朝顔につるべとられて... ひ水、... 蕉翁も見るに堪へ兼ねて... 宗次やそう苦しんでばか... り居すそ休んだらよか... ろうと、... じだらくに寝れば涼しき... ことを得るのであります

愛撫し燕陶... する中石城郡大浦村と草野村に互期の無競争に終始し得さう

中學校の教育... 校第一條の示す處では「國... 民道徳の養成に力一むるこ... とになつては居るのであり... ますが實際は其訓練陶冶は... 出來て居ないのであります... 級主任もあり校長もあるが... 四年乃至五ヶ年の在學中、... 一貫して之を

本郡百景の... 東京日か... 新舞子へ... 自然景色を以て見られるの... 嫌ひあつた結果競争の已む... なきに至つた事は争はらぬ... 事實であるが其中に於て初... 鳥を待ちこがれて夜明けし... いた宗次と云ふ者が居た或

はお師匠様ごなきさいま... せお人まり著うございま... すからチと、休みませう... じたらくにして居た方が... 涼しうございますから... と云ふところりと横になり... ましたその言葉を聞きまし... 宗次お前の今... つた言葉が其まゝくにな... るではないか、... じだらくに寝れば涼しき... ことを得るのであります

推薦す... 佐々木龍若... 平町四軒十八番地

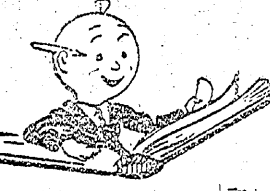
洋服は
模範
裁縫



平町駅前 電話八〇七番

高島屋

初夏に應じたいお召ものは



モリタヤ

平町五丁目
電話三五三番

洋傘	傘
ワイシャツ	シャツ
ネクタイ	タイ
メリヤス	ス
帽子	子
靴	下
女生服	服

最新流行行

會津桐材
白製専門

小松はき物店

磐城平町二丁目
電話九一〇番

製造元

丸器藏冷



平町三丁目 電話三五九番

安價に
迅速に
丁寧な
親切に

福島縣石城郡平町

遠藤活版所

電話七四三番

諸毒下シの大妙藥

安流丸

平町五丁目角
特約山野造藥局

急派の求めに應じます

平町三丁目 電話三〇七番

ガソリン
モビール油
日本石油
株式會社

特約販賣

屋間油
店商内關

支店 郡山市
支店 磐前大通
支店 磐城縣
支店 關本驛前

電話三三八番

出張所 平町四丁目
郵便局前

豆と晒あん

● 北海道のよいお豆
● 純小豆製のよい晒あん

お電話なり下されば多少に拘らずお届け申上げます。

田卷隆一商店

平町紺屋町十三番 電話九〇八

愛國用産

時計は信用ある精工舎製品を

特約店 **大谷時計病院**

平町三丁目 電話十九番



磐城銘酒

代表

美味經濟

ヤマハ醬油

山崎合名會社

電話十番

金物問屋

金屋

平町

電話一三九番

電話一三九番

電話一三九番

高級車

グラハムページ

たしましたい車入がンダセ型新

すまひ願乗試御非是

貸切自動車の御用命は 昭和

高級車で 乗心地よ 昭和

平町駅前

電話 **三四三番**

入湯時の快感を

カクニ石鹼で

品質純良
價格低廉
心地よい泡立
優雅な香

壹 **金拾錢**

平町四丁目
電話一四〇

ツルヤ

初夏……サロンの新装(四月十一日から)

樽詰生ビール並に
タンク入ソーダ水

平町のソーダファンテン

矯矢の

ソコツキ 一杯 十五錢

ソーダ水 各種 十五錢

ごうそ御散歩がてらに御来店を
美判の 平町田町 **サロ**
電話三五二番

